

議会改革推進委員会 会議録

開催日	令和3年11月9日(火)
会議時間	午前10時00分 ~ 午前10時57分
開催場所	全員協議会室
出席委員等	[委員長] 岡村 芳樹 [副委員長] 中村 孝治 [委員] 石井 秀明, 山本 英司, 敷根 文裕, 五十嵐 智美, 藤崎 良次, 久野 妙子  [オブザーバー] 議長 平野 裕子
欠席委員等	木崎 俊行
委員外委員	萩原 陽子
説明のため出席した者の職氏名	なし
議会事務局	[局長] 向後 昌弘 [次長] 宮崎 由美子 [書記] 飯野 明, 秋葉 昌輝
協議事項	タブレット端末の活用・議会のペーパーレス化について

【決定事項】

- (1) タブレット端末導入について  
タブレット導入へのスケジュール(案)に基づき、タブレット端末を導入する。
- (2) デモンストレーションの実施について  
タブレット導入の目的を決定する必要がある、使用目的により導入するシステムや機器の性能が左右されるものと思われるため、タブレットシステムのデモンストレーションを開催する。なお、デモに当たっては、代表的なシステム2社を別々の日程で実施する。
- (3) デモンストレーションの開催日程について  
来年の1月中の開催を予定。日程については、調整のうえ後日、事務局より連絡する。

【主な意見】

- (1) タブレット導入目的等に関する意見
  - デジタル化は住民・議員・事務局・執行部にバランスよく配慮する必要があり、特に住民にどんなメリットがあるのかが最大のポイントである。単にタブレット等を導入するだけではコストがかかるだけでメリットが見えず、これまで以上に住民に役に立つ議会になることが目標である。タブレット導入の目的に「これまで以上に住民に役に立つ議会にすること」を入れたほうがいいのか。
  - 住民との対話、議会活動を今後どのようにしていくのか、目的を明確にすべき。
  - コロナ対策、災害対策にもタブレットは有効と考える。災害対応の体制も検討すべきと提案しているが、タブレットもその一環になると思う。他市議会では、業務継続計画の中にタブレットの項目が入っている。それらも入れて協議すべき。住民との対話、議会活動をこれからどのようにしていくのか、目的を明確にする必要がある。
  - タブレット導入だけではなく、システム全体として情報の流動化を進めていくことになると思う。導入目的に議会の情報公開を進めるということを入れていただきたい。
  - 既にタブレットを導入している自治体の視察等をしているが、様々な問題点があることを考慮し

たうえで導入は必要であると考える。

⇒導入の目的については、どこに比重を置くか、どこまでやるのかは今後の課題であり、導入して使いこなしていくなかで構築する部分もあるのではないかと。しかしながら、導入することによって間違いなくできることの幅は広がり様々なことに役立つと思う。いろいろな観点からタブレットを評価する必要がある。

- 導入する目的を明確にしていくことは必要だと思う。どこまでタブレットを活用してやっていくのかということを決めて導入すべき。会派に属さない議員の方たちからの要望書にもあったように、委員会のインターネット中継も以前から課題として挙がっているのも、そういったことも目的の中で明確にしていくべき。
- 議会が目指す大きな目標の設定も必要ではないか。住民との関係も含めて、資料の目的をより具体的に記載すべき。
- インターネットを活用した調査研究や、Zoom を活用した報告会は会派によっては既にやっているが、それを議会として、議会と住民の双方方向まで広めてやっていくとなると、なかなか進まないのではないと思う。ペーパーレス化などの目的に向けて、まずはタブレットを導入して議員がしっかりと使いこなすことが先決であり、その後、使用目的を広げていくのがいいのでは。
- 税金で導入するのだから、事務の効率化だけが注目されるのではなく、住民にとってどのようなメリットがあるのか、災害対応を含めて住民との関係を位置づけるべき。また、使用目的を広げた場合にコストがどの程度になるかシミュレーションをやってみてはどうか。
- 今後具体的な活用方法を十分検討していただきたい。

⇒皆様からの意見により、明確な目的をもって導入に向けて進めていくべきということが確認できた。デモンストレーションで実際に実機を操作する上で、色々な意見が出てくると思われる。その中で明確な導入目的が確認されていくと思う。また、本日の会議での様々な意見等を会派に持ち帰って、会派内でさらに協議していただきたい。

## (2) システムデモンストレーションに関する意見

- 近隣で導入している自治体はたくさんあるので、事務局に利用者の声を調べて欲しい。

## (3) その他の意見

- スケジュール案に申し合わせ事項等の改正、取り扱い基準の策定作業とあるが、この時期、だいたいタブレット導入の見通しがついた時点で、次の改革のテーマを話あっていきたい。
- タブレット導入以外のテーマにもスピード感をもって取り組むべき。

以上のとおり会議要録を作成し、ここに署名する。

委員長 岡村 芳樹